



南あわじ市

第51号

平成28年10月31日発行

議会だより



子ども議員が 市議会議員に質問



8月6日、「第2回南あわじ市子ども議会」を議場で開催しました。子ども議員として参加した市内の各小学校の代表16名が、まちづくりに対する意見や要望について市議会議員に質問をしました。

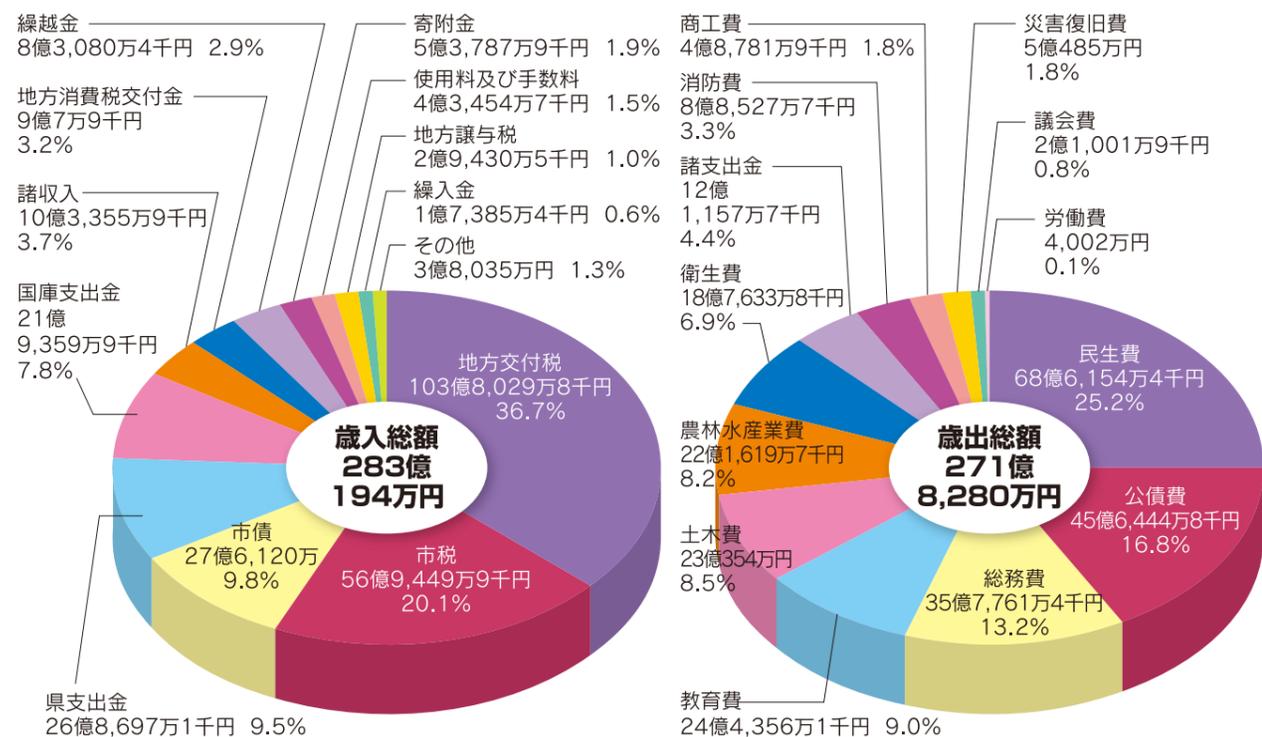
(18～19ページに詳細)

主な内容

- ・ 第68回定例会の結果 … P 2～7
- ・ 一般質問 …………… P 8～12
- ・ 1年間の委員会調査報告 ……… P 13
- ・ 委員会調査レポート ……… P 14～16
- ・ 議会活動日誌 …………… P 17
- ・ 子ども議会 …………… P 18～19

27年度 決算を審査しました

一般会計決算 科目別構成グラフ



歳入総額 283億 194万円 - 歳出総額 271億 8280万円 = 差引 11億 1914万円

▼市民交流センター運営
 全地区に一律の交付金を算定するのではなく、意欲のある地域は積極的にフォローすることを考え、地域が主体となって盛り上がり、いくような行政がサポートするという形を周知するように努めら

▼らん・らんバス
 先日の子ども議会でも、高齢者のバス代を無料ですれば、交通事故件数が減るのではとの提言があった。地域公共交通会議のこれからの協議事項として、高齢者のバス料金の無料化や運転免許返納者への特典についての淡路交通との統一などを検討されたい。

一般会計決算
歳出



▼少子対策事業
 今、地方創生で一番重要なことは、人口増である。少子対策事業の実施により、出生数、転入者数がどう変動しているのか把握することが大切である。積極的に取り組まれない。

▼防犯カメラ設置補助金
 10地区分の予算計上にもかかわらず、申請のあったのは5地区だけであった。申請が少ないのは、制度を知らないことが考えられる。周知徹底に努められたい。

9月定例会の日程

- 8月31日 本会議1日目 (議案上程ほか)
- 9月7日 " 2日目 (一般質問)
- " 8日 " 3日目 (一般質問ほか)
- " 13日 決算審査特別委員会 (議案審査)
- " 14日 "
- " 16日 "
- " 21日 "
- " 26日 産業厚生常任委員会 (議案審査)
- " 27日 総務常任委員会 (議案審査)
- " 30日 本会議4日目 (採決ほか)

第68回南あわじ市議会定例会が8月31日～9月30日の会期で開かれ、市長より28年度一般会計補正予算など議案11件、27年度一般会計と特別会計などの決算15件の提出があり、また、市民からの請願1件、議員提案の意見書など3件を審議しました。
 各議案の内容と主な質疑や採決の結果をお知らせします。

27年度決算 全15件を認定

27年度一般会計、特別会計、企業会計



▲4日間行われた決算審査特別委員会での議案審査

平成27年度決算15件は、決算審査特別委員会を設置して審査しました。審査結果を意見・提言として取りまとめ、委員会審査報告を行い、事務事業を執行する上で十分反映するように求めました。審査過程において出された主な意見・提言等は次のとおりです。



▲本会議では補正予算など30件が提案された

決算審査特別委員会
 委員長/森上 祐治
 副委員長/吉田 良子
 委員/議長・監査委員を除くすべての議員

▼学童保育

未設置校区があるのは、指導員の確保ができないことが大きな要因である。指導員の処遇改善を検討し、早急に全校区に開設された。女性の活躍が求められる時代であるので、一日も早い開設に努められたい。

▼ゆーぶる、さんゆー館

両施設は、地元の方々の憩いの場、高齢者の健康増進、コミュニケーションの場となっている。健康増進という観点からみれば、医療費の削減にも寄与していると考えられる。利用者の声を聞きメンテナンスにより長寿命化に努め現在の状況を継続されたい。

▼予防接種事業

接種率向上策として、SNSの利用や戸

籍届出の窓口における説明等を周知するなど工夫されたい。

また、本年10月から定期接種化するB型肝炎予防接種は、漏れの無いよう対応するとともに、行政措置予防接種について、一定の接種率を確保されたい。

▼バイオマス施設管理

今年流行した「ベト病」が次年度に影響を及ぼさないよう、施設の利用等による残渣の適正処理の徹底を図り、病気が蔓延しない



▲バイオマス利活用施設

ような手だてを講じられたい。

▼まなび資金利子補給金

平成21年度の制度開始後、予算に対する執行率は、50%を超えていない。根本的に見直しを検討されたい。

▼沼島漁業

タイ、アジの高級魚への特化、魚礁づくりやアジの養殖の研究に取り組みなど、地元の見解を聞きながら沼島の漁業の再生に積極的



▲沼島でとれたアジ

な指導を行われたい。

▼決算附属資料の自己評価の達成度

市民の方にとって分かり易く、評価の透明性を高めるといことからパーセント表示がよい。評価委員会のよ

なものを設置して評価するよう検討されたい。

■討論要旨

中田市政11年目の決

特別会計決算

算。ゆーぶる、さんゆー館、人形会館等の利用者の減少、美菜恋来屋の赤字、庁舎建設と対照的に活力を失う地域、総じて事業の停滞感が否めず中田市長の残した負の遺産が多く見られ承認できない。

後期高齢者医療特別会計

保険料の低所得者軽減として「特例軽減」が平成28年度まで行われるが、終了後、高齢者の負担増が待ち受けている。高齢者が安心して医療を受けられ、安心して暮らせるよう要望されたい。

訪問看護事業特別会計

訪問看護ステーションの今後のあり方として、市がリーダーシッ

プをとり、事業の充実を図られたい。また、現状を踏まえ単純に事業の縮小、廃止という方向に行かないよう取り組まれたい。

・国民健康保険特別会計決算
反対 蛭子智彦議員

■討論要旨

南あわじ市の国保税の高さは県第二位。3割の市民に血税を使つて国保税引き下げはできないと市長は言うが、生涯にわたって、国保に加入しない市民は1割だ。一般会計から繰入を行い、高すぎる国保税を引き下げるべき。

賛成多数で認定 (15件)

衛生センター条例の一部改正

■議案内容

地名の変更に伴い、衛生センターの所在地を「桜花の郷2番地」に改める。

■主な質疑

問 施設が老朽化しているが、今後の見通しは。
答 関係部局で「し尿処理検討委員会」を立

ち上げ、施設の廃止に向けた検討を行っている。

問 跡地利用はどうするのか。
答 「桜花の郷」という地名にふさわしい施設整備を検討したい。

■議決結果

賛成多数で原案可決

財産の無償貸与 (元灘小学校)

■議案内容

廃校となった灘小学校の校舎等の跡地を(株)エコリカルに30年間無償で貸与する。

■主な質疑

問 無償貸与を受けた事業者はどのような事業を行うのか。
答 人工培土を使い、校舎内やグラウンドに設置したビニールハウスで機能的野菜の栽培を行う。

■議決結果

賛成多数で原案可決

平成28年度一般会計補正予算(第2号)

■議案内容

歳入歳出それぞれに4億1471万1千円を追加する。

■主な質疑

問 どのようなロボットのか。
答 介護の負担を減らす機器で、例えば、寝

導入支援事業補助金332万1千円追加

定期予防接種医師委託料410万円追加

追加理由は、生徒2か月から1

歳になるまでの幼児に

対し、B型肝炎ワクチン接種費用のうち1500円を助成してきたが、本年10月からこのワクチンが定期予防接種に切り替わり、無料にするための補正計上である。

食の拠点施設指

定管理料900万円及び債務負担行為補正、指

追加理由は、あわじ島まるごと

株式会社は、27年度に4200万円の単

年度赤字を出しているが、その補てんという意味合いでの予算計上であるのか。

答 赤字補てんという意味合いではなく、指

市場調査業務委託料100万円

追加理由は、東京都内でのマーケティング調査と南あわじ市の情報を発信するための店舗を探すための経費である。

市内花トイレ

追加理由は、淡路信用金庫から花トイレの修理のために3千万円の寄附金をいただいた。設計監理委託料300万円



▲灘黒岩水仙郷

と合わせて活用する。

灘黒岩水仙郷園地改善事業委託料300万円

追加理由は、毎年約1500個の水仙の球根を定植しているが、近年、園内の水仙の開花状況が悪いため、今回は約2万個の球根を定植し、また密集した球根を間引きして、手入れを行う。

賛成多数で原案可決

農業委員会等定数条例の制定

■議案内容

法律の改正に伴い、農業委員会の各委員の定数を定める。

■主な質疑

問 農業委員は従来どおり選挙により選出するのか。

答 従来の公選制を廃止し、市長の選任により議会の同意を得て任命される。

問 農業委員の任命の要件は。

答 中立的な立場の方を加えること、年齢的な偏りが無いよう配慮すること、女性を登用すること、認定農業者を過半数占めること等が定められている。

問 農地利用最適化推進委員が新設されたが、選任方法と役割は。

答 農業委員会が推薦及び募集をして、委嘱する。遊休農地の発生防止や解消などが主な

役割である。

■討論

反対 吉田良子議員

■討論要旨

賛成多数で原案可決

27年度 国民宿舍事業会計の欠損金の処理

■議案内容

国民宿舍事業会計の27年度欠損金2833万円を積立金の取り崩しをもって処理する。

■主な質疑

問 施設を平成30年4月から指定管理者へ業務委託することを公表

したが、これにより、職員の勤労意欲等が低下し、欠損金の増加につながるのではないか。

答 指定管理者へ引き継ぐまで、今年で47年目となる国民宿舍の経営の総仕上げを、気を抜くことなく進めてい

くことを職員全員で再確認した。

問 指定管理の時期を早めることで、欠損金を抑えられないか。

答 古津路地区との協定や地元への説明、職員の処遇等、調整事項が多々あるため、時期を早めるのは難しい。

臨時国会でTPP協定を批准しないことを求める請願

■議案内容

国の関係機関に「臨時国会でTPP協定を批准しないことを求める意見書」を提出すること。

■主な質疑

問 TPP批准による農林水産業への影響は。

答 兵庫県の試算によると、県内で5億円から8億円の減とされており、特に畜産物に対する影響が大きい。本市は、生乳や牛肉への影響が懸念される。

また、TPP協定の各項目は、特定の多国籍企業の利益に基づいて構成されているとの指摘があることを注視する必要がある。

問 外資系水産会社が漁業権に入札できるようになるといわれているが。

答 漁師が保有する漁業権のように、政府が保護や規制をかけていたものが撤廃されることによって、外国企業の参入が自由になり、漁業にとっても痛手を

■委員間討議

・請願の審査で配布された資料は、反対の立場からのみの内容である。

■議決結果

賛成少数で不採択

■討論要旨

賛成 吉田良子議員

議決結果一覧

議長（原口育大）は表決に加わらない。（○は賛成、×は反対）

Table with columns for proposer (市長), proposal name (議案名), decision result (議決結果), and council members' votes (各議員の賛否). Rows include various budget items and resolutions.

* 南あわじ市ホームページにおいて、議決結果を原則議決日の翌日に掲載しています。

北朝鮮による日本人拉致問題の早期全面解決を求める意見書

■要旨

日本人拉致問題は、北朝鮮による我が国の主権を侵害した国家犯罪であるとともに、人道に反する犯罪である。国におかれては、北朝鮮との対話の窓口を堅持しつつ、関係各国との緊密な連携及び国連を中心とする多国間の協議等を踏まえながら、対話と圧力、行動対行動の原則を貫き、さらなる強い制裁を含むあらゆる手段を講じて日本人拉致問題の完全解決のために全力を尽くして取り組まれるよう強く要望する。

■意見書提出先

総理大臣、外務大臣、拉致問題担当大臣他

一般質問 市政を問う

9月7日、8日の2日間にわたって、8人の議員が一般質問を行いました。

なお、市ホームページでさんさんネットで放送した「一般質問」の番組を動画配信していますので、ご覧ください。

閲覧方法 「市ホームページ」→「南あわじ市議会」→「録画放送」→「一般質問の録画配信」

●答弁者は次のとおり表記しています。

市長→**長**、副市長→**副**、教育長→**教**、総務部長→**総**、企画部長→**企**、危機管理部長→**危**、市民部長→**市**、福祉部長→**福**、農林水産部長→**農**、建設部長→**建**、教育次長→**次**、会計管理者→**会**、選挙管理委員会書記長→**選**



日本共産党南あわじ市議員 吉田 良子 議員

心のケアを最優先に

問 教職員の不祥事をどう受け止めているのか。

次 教育の信頼を損ねた。2度と起こさない、起きないよう、綱紀粛正の徹底、信頼回復に取り組み、子ども達への心のケアについての取り組みはどうか。

次 9月に週3回スクールカウンセラーの配置、それ以降は検討していきたい。教師についてサポート体制を築いていきたい。

問 再発防止の具体的な取り組みはどうか。危機管理の徹底、

未然防止に向けた取り組みを実施。

18歳選挙の実態と今後の取り組みは

問 7月の参議院選挙の18歳選挙権の投票率はどうか。

選 31・16%と県下で一番低い結果になった。

問 最低となった要因と今後の取り組みについて。

選 高校生は62・5%と平均より高い、住民票を移動せず市外に出ている場合の投票率が低い。有権者となる前の段階から政治参加を促すような取り組みが重要。

高齢者の投票のための交通手段の確保を

問 合併時45か所



▲市役所前に掲示している「非核平和宣言都市」の懸垂幕

問 投票所が30か所に減少、特に移動手段がない高齢者は投票所へ行く事が困難との声があり、改善が必要ではないか。

選 送迎や、移動投票なり先進地の事例を検証したい。

非核平和宣言都市にふさわしい取り組みを

問 原爆パネル展を各地区で開催してはどうか。

次 予算は検討する。

市政運営と今後の取り組み 課題について

問 沼島地域の活性化のため、離島振興法を最大限に活用した開発を。

企 平成25年から34年までの10年間の計画となっており、事業を進めている。これからの事業について、随時、検証等を行い、地域の声を十分生かされていくように進めていきたいと思う。

問 市の教育行政の中で地域と学校との連携が薄らいでいるように感じているが、緊密な対策を講じるべきであると思うが



問 市発足12

総 職員は全体の奉仕者として全力を挙げて専念という理念の徹底とさらに職員の倫理規定を設けて、職員の研修を図っていききたい。

教 学習指導要領の改訂の中で、国も地域との連携を強めるようにと地域社会に開かれた学校の教育を共有していき、地域と連携がとれるよう取組みを行いたい。

問 職員の責務、職務規定と資質の向上と職員教育の徹底を図るべきであると思うが、どのように進めるのか。



▲沼島全景

ゆるはクラブ 中村 三千雄 議員

年、地域感情なり地域格差が薄れて来て市民の一体感が生まれてきたと認識しているが、市長の来期に向けての想いと心境をお聞きしたい。

長 一体化も簡単にいかなかったが、私自身も目に見えた形で出来たと実感している。今後は市の将来展望等をふまえて情勢を見ながら判断し、対応していききたいと思っている。

淡鳳会に責任ある対応を求める

問 津井小学校跡地へ社会福祉法人淡鳳会に福祉の里をお願いすることになっていすが、この法人の運営する障害者施設フローラ北淡で虐待事件が起こっている。説明をいただきたい。

福 28年3月に家族から通報があつて知った。調査を行い虐待と認定した。県も監査している。

問 それ以前には知らなかったのか。

福 25年6月にも通報があつたが虐待認定はしていない。

問 25年4月には虐待事象として改善を



日本共産党南あわじ市議員 蛭子 智彦 議員

求める文書指導が行われている。27年6月にも口頭による指導がなされている。市が津井小学校施設の無償譲渡、土地の無償貸与などを決めるときにこの情報提供はどうだったか。

福 そういったことがあれば書類、口頭など言っていたかどうか指示すべきであったのではないかと感じている。

問 津井小学校跡地を利用するがゆえに厳しい指摘をしなければならない。責任を持って運営されるかどうかの不安がある。

まだ解体工事も終わっていないが、期日通りの開設が見込まれるか。必要な人員が確保できるか。

福 期日通りの開設については、市の方から確認するとはいえないが法人の努力を促すしかない。

問 淡鳳会に厳しく求めてほしい。

福 指導、監視はしていきたい。



▲解体工事がようやく始まった津井小学校

市民連合・無所属クラブ 木場 徹 議員

第2回子ども議会での 質問事項について問う

問 自然あふれ、安全に遊ぶ、スポーツが楽しめる公園づくりは。

建 各地域づくり協議会で意見をまとめ要望を市へ出していただければ添うようにして行きたい。

問 通学路の安全施設の取組は。

次 8月8日に通学路安全推進会議を開催し点検、改善を推進しているが、子どもの意見を直接聞くような取組ができるか考えたい。

問 人口減少と地域振興策は。



企 合併から昨年までに5335人減少しているが、一番の重要課題である。

問 旧辰美中学校跡地の企業誘致は。

企 地元の意見集約がほしい。

問 高速道路の無料化は。

企 まず、ネクスコと同額の割引額で取組をしている。

問 美菜恋来屋付近で観光農園用ハウスをつくり果物類の体験施設を考えては。

農 検討したい。

問 市にはポイ捨てをなくす南あわじ市美しい島づくり条例があり、住民の方に協力をお願いする事になるが。



▲横断歩道をわたっている小学生

者、住民がポイ捨て防止、住みよい地域、島づくり、環境美化を図る目的である。

問 市長、先般の子ども議会での質問事項についてどのような感想をもったか。

長 子どもたちのいろいろな夢を実現するには、各地域と私たち行政がどう関わっていくかだが、子どもたちの夢を出るだけ実現させていくことが私たちの役割である。

南あわじ市公明党 熊田 司 議員

被災者支援システムの導入を

問 被災者支援システムの導入について、どのようになっているか。

危 このソフトを導入し、運用できた場合には住基台帳のデータをもとに市民の安全確認や救援物資の管理、仮設住宅の入居状況、義援金の支給状況を一元管理できるもので、パソコンの端末に住民の氏名を打ち込んで検索すれば、瞬時に被災者関連情報が得られるものと聞いている。とりわけ、罹災証明がスムーズに行うことができるかと聞



▲防災訓練

いている。本市においても被災者支援業務を適切に実施したいという思いがあるので、早期の導入に向けて前向きに検討したい。

問 市として「事業継続計画」策定の意思はあるか。

危 今年度に入ってから取り組んでいる。遅くとも今年度末には案を作成し、来年度にはその作成の完了を迎えていきたい。

問 明石市では公共施設管理計画と実施計画を作成しているが、当市はどうするのか。

総 管理計画ができて公共施設の統廃合や更新ができるものでない。管理計画が出来れば、具体的にどういう風に統廃合していくのか実施計画を立てていく。

市の固定資産に対する取り組みは

誠道クラブ 谷口 博文 議員

防災対策について

問 国に防災インフラ等陳情に行かれた。具体的な要望内容は。

長 県、洲本市、南あわじ市で国の担当に陳情に行き、内容は特に津波防災対策、三原川、低地の関係で説明。国土交通大臣政務官等32名の方々に要望を伝えた。

問 消防団員の個人装備の充実強化を図っているが、水防活動時の雨具が貸与されていない。団員各自に個人貸与してはどうか。

危 消防団員の方々に平成27年度に安全靴、防災手袋等、へ



ルメット、救命胴衣などを装備した。雨具が抜けていたという事なので、来年度の予算要求には入れていきたい。

問 災害被災地の例を見ると、仮設住宅建設用地の確保が遅れた為、復旧復興の遅れが見られる。地域住民が憩える公園、災害時は仮設住宅入居者の方々の生活利便な用地、防災公園の用地確保をすべきでないか。

危 恒久仮設住宅の用地確保については、5年前の東日本大震災、熊本地震でも大きな問



▲消防団の消火訓練

題となり、国ではその教訓を受け国交省では、建設用地の確保を各都道府県に要請しており、また、国交省と内閣府は平成27年3月平時から建設用地の確保に取り組むという通知も出ている。

長 部長から説明されたが、どの様な形で出来るか一度検討を進めてみたいと思う。

政真クラブ 廣内 孝次 議員

公契約条例とは

総 市の事業で工事、サービスの提供、物の購入等、委託する際に結ぶ契約が公契約。

問 これは建設現場で働く労働者に、生活していくのに十分な賃金や労働条件を確保する条例である。公共工事労働単価はどのように決められるのか。

総 公共工事設計労働単価、兵庫県積算単価表、建設物価、業者見積もり等で決定する。

問 そうではなく労働単価の実態調査を、9、10月に行い、翌



年の設計労働単価を決定。下請けに労災保険を義務づけているように聞かす。

総 共通費で計上。

問 元請け企業が下請けに丸投げして指揮監督や管理を一切行っていない場合は、損害賠償を負わされない。したがって、下請けが労災保険をかける必要性が出てくる。多層下請構造を改めなければならぬと考えるが。

総 元請けは責任を持って、公共工事に当たる必要がある。

問 公契約条例によって、若い未熟な職人を育成する経費が見込め、伝統技術を伝承することが出来るのではないか。公契約



▲大榎列古津路線と県道大谷鮎原神代線との交差点

条例の効果は。

総 平成20年に公契約法の制定を進めることで市議会が決議。全国一律の効果が果的。

問 道路整備については

問 大榎列古津路線、JA榎列から榎列小学校、おのころ橋までのクランクの箇所計画は。

建 検討中で協議等まで至っていない。

問 幡多山線の道路の延長は。

建 地元調整等が進めば実現化に着手。

1年間の調査報告

総務及び産業厚生常任委員会では、昨年11月から1年間、議会閉会中に所管事務調査を行い、その結果について、9月定例会で特に重要と思われる事項について報告しました。その概要を掲載します。

地方創生について

市民連合・無所属クラブ 印部 久信 議員

問 国は長きにわたるデフレ脱却を目指す。物価上昇率を2%を目標として経済運営をしているが地方創生についての認識は。

企 経済政策の通称で東京一極集中を是正し人口減、雇用減、少子化に歯止めをかけ地方の活性化を目的とする。



問 市の事業内容は。地方創生交付金事業で27年度1億9200万円、主なものはウェブサイトにあわじ国の制作、プレミアム商品券の発行事業など。

企 協力量員数は。現在12名。何年雇用出来るのか。



▲移住・定住担当の協力隊員が、移住者の声をインタビューしている様子

問 あわじ国制作の目的は。

農 南あわじ市を売り出し農畜水産物の販売、促進、交流人口を増加させ、地域経済活性化が目的。

問 費用負担は。活動費、賃金、全額特別交付税で補填されている。

問 地方創生は地元で職場を確保し人口の社会増・自然増を起していくことが必要がある。力強くやってください。

一部事務組合などの議会報告

平成28年7月～9月

第3回定例会

〈8月24日〉

淡路広域行政事務組合
議長に山本和彦議員（洲本市議会議員）、副議長に廣田克子議員（淡路市副議長）を選出。歳出総額20億860万円。平成27年度決算の認定、消防自動車などの財産の取得議案を可決。

淡路広域水道企業団

第3回定例会

〈8月24日〉

議長に原口育大議員（南あわじ市議会議員）、副議長に上田昌孝議員（洲本市副議長）を選出。平成27年度事業会計決算の認定。

南あわじ市・洲本市小中学校組合

第3回臨時会

〈7月21日〉

小中学生の授業でタブレット活用のためのパソコン等調達業務を（株）さくらケーシーエス、日本教育情報機器（株）と5901万9840円で賃貸借契約を承認。教育委員会委員 河上和慶（洲本市教育長）の任命に同意した。



淡路広域消防事務組合

議長に松本英志議員（淡路市議長）、副議長に柏木剛議員（南あわじ市副議長）を選出。歳出総額1億8087万円。平成27年度決算の認定、児童通園支援施設「わたぼうし」の空調設備改修等の補正予算などを可決。

新しいまちづくりに向けて

総務常任委員会

市の総合的企画・調整

新庁舎が開庁して約1年半、市民交流センターも開設された。新しいまちづくりの形が整備され、計画通りに進んでいるのか、活発に質疑し、点検、改善を提言した。

市民交流センターは、各地区で活発な活動の中、職員数の見直しを人口減少対策の一つとして増加する空き家対策を。大きな成果をあげているふるさと応援寄附金では市民の参加の拡大を。地域おこし

タマネギべと病撲滅に向けた対策を

産業厚生常任委員会

教育・文化、スポーツの振興

サッカー場建設は、早急に建設候補地を決定し、事業を進めること。松帆銅鑼のシンポジウム及び特別展等を継続して開催し、周知

医療体制と健康づくりの推進

市民の疾病の傾向等を検証するとともに、町ぐるみ健診の受診率の向上に努めること。

福祉対策

保育士職員について、嘱託職員の処遇改善及び正規職員採用枠を拡大する等、適正な職員の確保に努めること。

介護保険と高齢化社会対策

敬老会は、各地区の状況を把握した上で今後も支援すること。

農業振興

淡路ブランドのさらなる確立に努めること。タマネギべと病について、撲滅に向けた対策や情報収集、風評被害の拡大防止を。

産業振興

サクラマスの養殖は、安定的な生産を確保するとともに、全国エリアへの販路拡大に支援

生活環境、選挙事務

鹿児島志布志市が実施している生ごみの堆肥化の検討、各種選挙での「共通投票所」の検討等も提言した。

国際交流事業

国際交流でのホームステイの受け入れの募集方法を検討されたい。

都市整備事業

市道仁頃港線の崩落事故で被害を受けた道路は、周辺住民の利用度が高いため、早期の復旧に努めること。

防災行政無線工事の進み具合は？

総務常任委員会

7月7日の委員会

ホームページのスマートフォン対応

様々な身近でホットな情報が掲載されている広報紙をスマートフォンで閲覧するサービスが、検討の俎上にあり、調査をしている。ホームページのスマートフォン対応と合わせて順次進めていきたいとの見解を得た。

防災行政無線工事

2500件の防災行政無線工事の進捗は、電波が届きにくくアンテナが必要であれば、設置



▲設置の補助をしている可燃ごみの集積かご

8月10日の委員会
子ども議会でも提案されたごみステーションに関する質疑で、

ごみステーション

子ども議会でも提案されたごみステーションに関する質疑で、

サッカー車が作業する際の乗務員や市民の安全性の確保、可燃ごみの集積かごの必要性と補助率のアップ、資源ごみ、不燃ごみ収集場を設置する際の補助対象の抜本的見直し、紙類、衣類を想定した屋根つきごみステーションの推進等、意欲的な答弁があった。

ケーブルネット ワーク淡路の民営化

ケーブルネットワーク淡路の民営化は、サービス内容、月額利用料金の変更など、市民生活への影響が懸念される中、慎重に進める旨、委員会として強く要望した。

淡路3市合同の広報広聴交流会を開催

議会広報広聴常任委員会

7月20日に淡路市役所において島内3市議会合同で広報広聴交流会を、神戸新聞社三好正文総局長をお迎えして開催した。自己紹介のあと、各市の状況説明・意見交換を行い、そのあと「議会だよりの編集について」三好総局長の講演があった。委員の選考方法は淡路市では希望者7名、洲本市は各常任委員から2名で6名、南あわじ市は会派から1名の6名となっている。最近の広報紙の方向性は多くの市民に読んでいただくため、見やすい紙面づくりを第一に編集しているとのこと、本市のように情報をすべて載せるのは大きな違いがあった。

7月20日に淡路市役所において島内3市議会合同で広報広聴交流会を、神戸新聞社三好正文総局長をお迎えして開催した。自己紹介のあと、各市の状況説明・意見交換を行い、そのあと「議会だよりの編集について」三好総局長の講演があった。委員の選考方法は淡路市では希望者7名、洲本市は各常任委員から2名で6名、南あわじ市は会派から1名の6名となっている。最近の広報紙の方向性は多くの市民に読んでいただくため、見やすい紙面づくりを第一に編集しているとのこと、本市のように情報をすべて載せるのは大きな違いがあった。

他市では様々な取り組みを行っているが、本市では報告会を年一回、意見交換会を1回行っている現状である。講演では広報紙はより正確に、より詳しく、より迅速に、また双方向性のあるものが重要で、継承されることが大切である。また「事」や「様」などは、それ自体に意味がない使用の際は、ひらがなを使用するのが基本であると説明された。この度の交流会は意義があったので今後も継続して、より良い広報紙を目指したい。

美菜恋来屋の運営状況は？

産業厚生常任委員会

7月8日の委員会

美菜恋来屋の運営状況

美菜恋来屋の平成27年度の運営状況は、初期投資等の影響により4200万円の赤字決算となっているが。

初期投資とは、開業するまでの人件費、消耗品費、厚生費、研修費等で約2600万円である。さらに、支払リース料約860万円の影響もあると考えられる。今後、あわじ島まるごと(株)と継続

して協議を行い経営改善に努めたい。

委員会

ここが知りたい
委員会調査レポート

調査レポート

各委員会では、議会閉会中も調査活動などを行っています。7月～8月の議会閉会中に行われた委員会の概要を報告します。市ホームページに会議録を順次掲載していますので、ご覧ください。



▲淡路3市合同の広報広聴交流会で南あわじ市の取り組みを発表する廣内委員長

教育現場

市内中学校の部活動を指導する先生方は、教科の教材研究等の時間を確保できているのか。

先生方には部活動に熱心に取り組んでいただいている。ノー部活デーの推進等によって生徒との関わりや、教職員の時間を確保できるよう対応している。

下水道の整備状況

下水道整備の進捗状況は。

平成27年度の市内集合処理の整備状況は78・4%、合併浄化槽等を含めた生活排水処理の普及率は83・5%。



▲平成27年3月にオープンした美菜恋来屋



▲鱧

地場産物を使った学校給食

地場産物を使った学校給食については、9月下旬に鱧を

子育て学習・支援センター

8月26日の委員会

9月1日から、子育て学習・支援センターが旧二宮保育所へ移行となるが、サービス形態に変更はあるのか。従来どおりのサービスを継続する。大きな行事を開催する場合は、他の公民館や体育館等を活用する。

先生方には部活動に熱心に取り組んでいただいている。ノー部活デーの推進等によって生徒との関わりや、教職員の時間を確保できるよう対応している。

先生方には部活動に熱心に取り組んでいただいている。ノー部活デーの推進等によって生徒との関わりや、教職員の時間を確保できるよう対応している。

先生方には部活動に熱心に取り組んでいただいている。ノー部活デーの推進等によって生徒との関わりや、教職員の時間を確保できるよう対応している。

議会改革の先進地を視察

議会運営委員会

■管外調査
(8月3日～5日)

●北海道平取町
「アイヌ文化伝承推進特別委員会」の活動

町議会の特別委員会として、アイヌ文化伝承推進の活動の調査を



▲平取町議会で特別委員会の活動を調査

行っている。町はアイヌ文化の伝承環境保全対策を政策として徹底して取り組み、観光資源にしている。
平取町は、南あわじ市との友好市町であり、市議会として合併後初めて、その地に赴いた。今後も関係を尊重していくことが強く望まれる。

●北海道帯広市

「委員会による政策提案の取組、会議の傍聴の促進」

子育て世代の方に議会に足を運んでいただく

ために、幼児一時預かりを保育士配置で実施また、議会における手話通訳士の活用を行い議会の公開に力点を置いていた。実績としては申込件数が少ないようであるが、議会に足を運び、より理解を深めよう努力が伺えた。

●北海道芽室町

「会議での情報通信機器等の活用、議会基本条例の検証及び評価」

市民の声に耳を傾け、議会広報紙の毎月発行や積極的に議会情報を市民に公表することにより自らを戒めていく姿勢が伺えた。また議会基本条例の検証を常に行っており、議会へのタブレット端末の導入など、今後の議会改革の方向付けの参考としたい。

議会の開会を「松帆銅鐸」の音色で知らせました



▲松帆銅鐸を鳴らして開会を伝える職員

8月31日に開会した9月定例会の開会を「松帆銅鐸」の復元品を使って知らせました。通常、議会の開会の号鈴は、手持ちのハンドベル状の鐘を使っていますが「銅鐸のまち」を全国にPRするため、この取り組みを企画。当日、多くの新聞社やテレビ局の取材を受け、全国にこの話題が伝えられました。

なお、銅鐸の復元品は市役所本館1階入口に設置しており、自由に鳴らすことができます。

蓮池薫さんの講演会を開催
議員公開研修会



▲蓮池薫さん

はすいけかおる

8月23日に新潟産業大学准教授の蓮池薫さんを招いて、議員公開研修会を中央公民館で開催しました。「拉致問題の本質と解決への道～拉致問題にみる地方公共団体の責務～」と題した講演では、蓮池さんが北朝鮮による拉致被害者として経験した悲惨な体験談を語り、早期の全面解決を呼びかけました。

当日、議員のほか参加申込のあった市民約500名が聴講し、真剣に耳を傾けていました。

議会活動日誌

7月～9月の議会の活動状況について次のとおり報告します。

7月

- 1日 兵庫県いずみ大会 (議長)
- 2日 「渦潮世界遺産推進フォーラム」前の交流懇談会 (議長)
- 3日 渦潮世界遺産推進フォーラム (議長)
- 4日 青少年健全育成市民会議(議長)
- 5日 阿万海岸海水浴場海びらき(議長、産厚委員)
- 6日 慶野松原海水浴場海びらき(議長、産厚委員)
- 7日 総務常任委員会
- 8日 産業厚生常任委員会
- 9日～10日 ふれあい文化芸能祭(主議員)
- 10日 小学生相撲大会(主議員)

- 11日 淡路地区消防操法大会(議長)
- 12日 議会広報広聴常任委員会
- 14日 東播・淡路市議会議長会定例会(正副議長)
- 15日 議会運営委員会
- 16日 兵庫県市町村職員年金者連盟南あわじ支部大会(議長)
- 20日 3市合同広報広聴交流会(議長、広報広聴委員)
- 21日 兵庫県連合自治会総会(議長)
- 22日 全国離島振興市町村議会議長会総会(議長)
- 23日 兵庫県市議会議長会総会(副議長)
- 24日 議員協議会
- 25日 兵庫県人権教育研究大会淡路地区大会(議長)
- 26日 男子・女子ソフトボール大会(副議長)

8月

- 3日～5日 議会運営委員会管外視察子ども議会(主議員)
- 7日 休日心急診療所開所式典(正副議長、産厚委員)
- 8日 兵庫県消防操法大会(主議員)
- 10日 総務常任委員会
- 12日 淡路広域団体議会議員協議会
- 14日 全淡ちびっ子相撲大会(副議長)
- 15日 南あわじ良太郎西瓜「収穫祭」(副議長、産厚委員)
- 18日 国際姉妹都市提携20周年記念式典(議長)
- 20日 淡路議会議員研修会(主議員)
- 21日 議員協議会
- 22日 まとい会総会(議長)
- 23日 慶野松原花火大会(議長、産厚委員)
- 24日 議会議員公開研修会(主議員)
- 25日 淡路議会議員研修会(主議員)
- 26日 淡路議会議員研修会(主議員)
- 27日 国際姉妹都市提携20周年記念使節団帰国報告会(議長)
- 28日 戦没学徒追悼献花式(主議員)
- 29日 福良夏祭り大綱曳(議長)
- 30日 戦没学徒追悼献花式(主議員)
- 31日 老人クラブ連合会親善グラウンドゴルフ大会(議長、産厚委員)

9月

- 1日 老人クラブ連合会親善グラウンドゴルフ大会(議長)
- 2日 子育て学習・支援センター移転オープンングセレモニー(正副議長、産厚委員)
- 3日 少年野球大会(議長)
- 4日 議会議員公開研修会(主議員)
- 7日 議会議員公開研修会(主議員)
- 8日 議会議員公開研修会(主議員)
- 13日 決算審査特別委員会
- 14日 決算審査特別委員会
- 15日 敬老の日制定50周年記念式典(議長)
- 16日 決算審査特別委員会
- 18日 淡路政経懇話会
- 19日 「食」まつり産産共進会
- 21日 決算審査特別委員会
- 23日 議会広報広聴常任委員会
- 24日 交通安全大会(主議員)
- 26日 産業厚生常任委員会
- 27日 総務常任委員会
- 28日 淡路地域づくり懇話会(議長)
- 30日 議会議員公開研修会(主議員)

行政視察の受け入れ状況

月日	議会名	調査内容
7月13日	滋賀県近江八幡市議会	あわじ島まるごと食の拠点施設について
7月28日	栃木県那須町議会	地域おこし協力隊の取り組み状況等について

子ども議会アンケート結果

■傍聴者の感想や意見など

・子どもならではの意見・質問が多く興味深かった。夢ある貴重な意見を今後の南あわじ市に生かしてほしい。子どもが政治に関心をもつ良い機会になればよい。

・各子ども議員の要望は各地域の身近な問題として、質問されていて、よかったと思います。同じ市内でも同じような環境ではないと分かりました。

・子ども議員が堂々としていてよかった。普段経験することのない貴重な時間になったと思う。今日子ども議員から出されたものが、子どもたちの目に見える形、感じられる形で市政に生かされることを願っています。

・子どもたちにとって貴重な時間となっていた。議員さんの応答も簡潔でわかりやすかった。今後続けていくなら、小学生だけでなく、中学生・高校生と広げていくことで、議論に深まりが出るし、より現実的な意見や解決策が出てくると思う。

・子どもたちが自分の考えを述べることはとても良いことです。議員の皆様が子どものために一生懸命、丁寧に答弁している姿は素晴らしいです。

第2回

子ども議

会を開催

8月6日、幅広い世代からまちづくり活動に生かすとともに、次代を担う子どもたち、学ぶ機会を提供するため、市議会本会議場で「第2回南あわじ市子ども議会」を開催しました。

に対する意見や要望を聴き、今後の議会もたちが、政治や行政について関心を持会議場で「第2回南あわじ市子ども議会」



▲子ども議会終了後、市役所庁舎の見学会を行った



▲議長役を務めた山崎大輔さん



副議長役を務めた椿原光琉さん

質問順	小学校名	氏名	題名
1	広田	鳥坪聖梨華	私たちの願い
2	市	砂川 向希	交通事故のない安全な町
3	福良	小森 未来	南あわじ市に楽しいイベントを
4	神代	椿原 光琉	安全で美しい町づくり
5	松帆	林 伊里弥	自然ツアー
6	湊	池田 果穂	住みやすいまちづくり
7	賀集	安田 愛	南あわじ市の人口について
8	西淡志知	澤内 祥希	みんなが集う安全な町
9	沼島	濱口 源斗	沼島の未来のために
10	倭文	寿円 茉歩	高齢者とのふれあいについて
11	北阿万	森原 朋哉	南あわじ市に人を集める
12	榎列	松尾 美音	通学路の安全について
13	阿万	楠木 芹彩	スポーツ環境についての要望
14	辰美	山崎 大輔	アスレチックを作してほしい
15	八木	窪田美紗希	10年後の南あわじ市について
16	三原志知	別所 基樹	三原志知からの2つのお願い



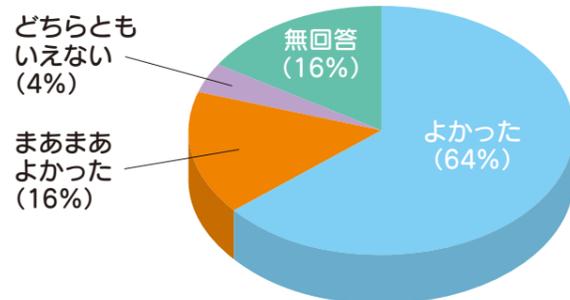
▲終了後、議長や市長から子ども議員に記念品が贈られた



▲まちづくりについての活発な意見に耳を傾ける子ども議員や保護者、学校関係者の方々

子ども議会の感想

回答者数25人



議会報告会に お越しください

今回の議会だよりで紹介した9月定例会の内容を中心に、議員自らが議会活動について報告します。

あわせて、市民の皆さま方との意見交換を行い、ご意見、ご要望をお聞きします。お誘いあわせのうえ、ご参加ください。
問 議会事務局 ☎ 43-5005



▲ 前回の議会報告会

●会場には、本広報紙をご持参ください。

日 時	場 所	内 容
11月9日(水) 午後7時～9時	緑市民センター 2階 第4・第5会議室	1. 議会報告 9月定例会の報告 2. 意見交換

定例会

第69回 南あわじ市議会定例会日程 (12月)

本会議

◆開会はすべて午前10時～

会議日	会議内容(予定)
第1日 11月22日(火)	1. 委員会調査報告 2. 議席の変更 3. 条例案上程(説明、質疑、委員会付託)
第2日 11月24日(木)	4. 平成28年度 南あわじ市一般会計、特別会計補正予算案上程(説明、質疑、委員会付託) 5. その他の案件上程(説明、質疑、委員会付託)
第3日 11月30日(水)	1. 一般質問
第4日 12月2日(金)	1. 一般質問
第5日 12月5日(月)	1. 一般質問 2. 追加議案上程(説明、質疑、委員会付託)
予備日 12月6日(火)	
第6日 12月14日(水)	1. 追加議案上程(説明、質疑、討論、表決) 2. 付託案件委員会審査報告(質疑、討論、表決)



- ◎市役所4階の議場で傍聴できます。
- ◎インターネットで会議の生中継も行っていきます。

委員会

◆開会はすべて午前10時～

	会議内容	会議日
委員会	総務常任委員会	12月8日(木)
	産業厚生常任委員会	12月9日(金)

編集後記

議会広報広聴常任委員会は、今夏、市内16の小学校のご理解とご協力のもと、昨年に続いて2回目の子ども議会を開催することができました。子どもたちは、自分のふるさとの現在を観、より良い未来を一生懸命考え、質問してくれたのです。前は、執行部に答弁をお願いしたのですが、今回は、議員が分担し合っって原稿を作り、答弁者となりました。子どもたちの瑞々しい感性、柔軟な思考による意見には感動しましたし、私たち自身大いに学ぶべきものがありました。9月定例会では、何人もの議員が、これらの質問事項を念頭に一般質問を行っておりま

す。広報委員会では、10月に平成淡路看護専門学校に学生と意見交換会を実施し、11月には緑市民センターで議会報告会を計画しています。市民により開かれた議会を目指し、広報、広聴活動をさらに工夫し、進めてまいります。(森上)